

最近の話題

愛媛大学農学部附属演習林

広葉樹材の販売

愛媛県内の木工所に対して、演習林内で伐採・製材された木材を販売した。この木材は調査・研究の際に伐採したものや、林道の支障木を伐採したものを、演習林事務所に設置の簡易製材機で板材に加工し、乾燥させていたものである。樹種はクリ、ミズナラ、イタヤカエデ、ケヤキなどで、家具や食器、おもちゃなどの製作に利用されている。

ニホンジカ防護柵のイノシシ害

本学演習林は愛媛県内でもニホンジカの密度の高い地域の一つ高縄半島に位置し、演習林内各所がシカの食害により林床植生がほとんど見られない中、防護柵内は雑草や草が生い茂った状態だった。しかし、2024年夏に2021年に施工した防護柵がイノシシと思われる動物によって穴をあけられる被害が発生した。当該防護柵は、ホームセンターで手に入る比較的安価な材料を用いて効果的な防除をおこなうことを目的に、京都大学の高柳敦先生によりご助言をいただきながら愛媛大学方式として開発しているもので、過去3年間に大きな被害は見られなかった。2024年は演習林内にこれまでになくイノシシが出現し、今後もこの傾向が続くのか注視したい。

老朽化した橋の架け替え工事

演習林内主要林道の橋の老朽化が懸念され、学内施設部による調査の結果3つの橋の老朽化が進行していることが判明した。この問題に対しては、橋の架け替えや補強、新たな道の新設など、予算の状況と合わせて検討してきた。そして、昨年度に3つの橋のうち1つを架け替えることが決定し、今年度に着工、完成した。